

八王子市 地域福祉計画改定に伴う意識調査

調査結果報告書〈民生委員・児童委員 地区会長編〉

平成 29 年 8 月

八王子市



百年の彩りを
次の100年の
輝きへ

【目次】

1 調査の概要	1
2 調査結果と分析	2
(1) 会長になったきっかけ	2
(2) 活動や生活の変化	3
(3) 後任者を探す方法	4
(4) 事務に従事している人	5
(5) 会長会について	7
(6) 会長としての活動へのサポート	8
(7) 自由記述	9

1 調査の概要

- 調査の目的：本調査は、「八王子市地域福祉計画」の改定にあたり、地域福祉に関する基礎資料を得ることを目的としています。
- 調査対象：市内の民生委員・児童委員のうち、各地区会長
- 調査期間：平成 29 年 6 月 日から平成 29 年 月 日
- 調査方法：直接配布、郵送回収
- 回収状況：配布数 20 通 有効回収数 20 通 有効回収率 100.0%
- 調査結果の見方：
 - ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
 - ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
 - ・本文や図表中の選択肢表記は、実際の調査票で使用した語句を短縮または簡略化している場合があります。

2 調査結果と分析

(1) 会長になったきっかけ

問1 あなたが会長になったきっかけは何ですか。(○は1つ)

		n	%
1	自薦	0	0.0
2	他薦	14	70.0
3	順番	2	10.0
4	その他	3	15.0
	無回答	1	5.0
	全体	20	100.0

<その他の記述内容>

○選挙。

○前会長から何人かに依頼があり、小生が引き受けた。

(2) 活動や生活の変化

問2. 会長となったことで、次のような活動や生活に変化がありましたか。

(項目ごとに○は1つ)

	全体	減った	ない 変わら	増えた	無回答
①見守り活動など相談や支援を行う時間	20	8	10	2	0
	100.0	40.0	50.0	10.0	0.0
②市役所などとのやり取り	20	0	1	19	0
	100.0	0.0	5.0	95.0	0.0
③研修の回数	20	0	3	17	0
	100.0	0.0	15.0	85.0	0.0
④会議の回数	20	0	0	20	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
⑤他団体の委員や役員	20	0	2	18	0
	100.0	0.0	10.0	90.0	0.0
⑥事務作業	20	0	0	20	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
⑦担当地区の民生委員からの相談対応	20	0	2	18	0
	100.0	0.0	10.0	90.0	0.0
⑧費用負担	20	0	3	17	0
	100.0	0.0	15.0	85.0	0.0
⑨自分と家庭の時間	20	17	2	1	0
	100.0	85.0	10.0	5.0	0.0
⑩上記選択肢以外で変化のあったもの	20	0	0	4	16
	100.0	0.0	0.0	20.0	80.0

(上段：回答者数(人)、下段：割合(%))

<その他の記述内容>

- ストレス、体調不良。
- 電話や外出。
- 定例会議の為の準備。
- 委員間の電子メールでの連絡で緊急案件の処理や各委員の悩み事など、地区内の風通しはよくなった。ただし会長は、複雑な質問等への回答等、作業の為の時間は増えたがやむを得ないと考えている。

(3) 後任者を探す方法

問3. あなたの地区で民生・児童委員が欠員となった場合、どのような方法で後任者を探していますか。(該当するもの全てに○)

		n	%
1	会長が探す	8	40.0
2	副会長が探す	3	15.0
3	退任する人が探す	20	100.0
4	町会・自治会等に依頼して探してもらう	18	90.0
5	その他	4	20.0
	無回答	0	0.0
	全体	20	100.0

<その他の記述内容>

- 委員の人と相談しながら、後任者をさがす。
- 同町会に民生委員がいた場合、アドバイス等もらう。
- 地区委員全員で探す。特に隣接地区の委員に依頼。
- 町会、自治会が長年の伝統で2期毎に候補者を決めている。

(4) 事務に従事している人

問4. 活動件数集計はどなたがされていますか。

- (1) 集計作業 (○は1つ) (2) 集計表の確認 (○は1つ)

問5. 地区定例会の運営についてお聞きします。

問5-1 会場の確保はどなたがされていますか。(○は1つ)

問5-2 資料の用意はどなたがされていますか。

- (1) 原稿作成 (○は1つ) (2) 資料のコピー (○は1つ)
 (3) 資料の配布準備 (○は1つ) (4) 資料作成にかかる費用負担 (○は1つ)

	全体	会長	副会長	協力員	その他	無回答
集計作業	20	17	1	1	1	0
	100.0	85.0	5.0	5.0	5.0	0.0
集計表の確認	20	20	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
会場の確保	20	10	2	1	7	0
	100.0	50.0	10.0	5.0	35.0	0.0
原稿作成	20	19	1	0	0	0
	100.0	95.0	5.0	0.0	0.0	0.0
資料のコピー	20	15	0	3	2	0
	100.0	75.0	0.0	15.0	10.0	0.0
資料の配布準備	20	15	1	2	2	0
	100.0	75.0	5.0	10.0	10.0	0.0
資料作成にかかる費用負担	20	8	0	0	12	0
	100.0	40.0	0.0	0.0	60.0	0.0

(上段：回答者数(人)、下段：割合(%))

<その他の記述内容>

[集計作業]

- 書記

[会場の確保]

- 会計（3人）
- 会場のある地区の委員
- 会場同町会の民生委員
- 事務局
- 会計、書記、地域4役（会長、副会長、書記、会計）で協力

[資料のコピー]

- 会長、副会長、書記
- 書記

[資料の配布準備]

- 時に応じて役員会員
- 当番制

[資料作成にかかる費用負担]

- 地区会費（4人）
- 地区会計（3人）
- 会費
- 役員
- 地区運営費
- 地区積立金

(5) 会長会について

問6. 会長会についてどのように感じていますか。(項目ごとに○は1つ)

①会議時間	全体	短い	普通	長い	無回答
	20	0	12	8	0
	100.0	0.0	60.0	40.0	0.0
②配布物	全体	少ない	普通	多い	無回答
	20	0	2	18	0
	100.0	0.0	10.0	90.0	0.0
③議題	全体	少ない	普通	多い	無回答
	20	2	10	8	0
	100.0	10.0	50.0	40.0	0.0
④情報量	全体	少ない	普通	多い	無回答
	20	0	8	12	0
	100.0	0.0	40.0	60.0	0.0
⑤関係所管からの依頼	全体	少ない	普通	多い	無回答
	20	0	9	11	0
	100.0	0.0	45.0	55.0	0.0
⑥動員依頼	全体	少ない	普通	多い	無回答
	20	0	8	11	1
	100.0	0.0	40.0	55.0	5.0
⑦提出物	全体	少ない	普通	多い	無回答
	20	0	7	13	0
	100.0	0.0	35.0	65.0	0.0

(上段：回答者数(人)、下段：割合(%))

(6) 会長としての活動へのサポート

問7. 会長としての活動に対して、どのようなサポートが必要ですか。(○は2つまで)

		n	%
1	会長会資料の送付	10	50.0
2	事務処理の支援	8	40.0
3	費用の支援	3	15.0
4	地区定例会の運営支援	0	0.0
5	メールの活用など電子化するための支援	2	10.0
6	その他	4	20.0
	無回答	3	15.0
	全体	20	100.0

<その他の記述>

- 担当地域の見守り、声掛け等
- 簡素化が必要、無駄が多い
- 会長会費の送付（車を運転しないことを前提として欲しい）、電子メールの活用（20地区は合計33名の委員がおり電話の連絡網では、複数に枝分かれしても間に不在の方が居られたりすると情報の伝達最終確認は、結構手間取り精神的な負担になっていた。地区定例会で諮ったところ、ほぼ100%の方が支持されたので秘密情報を扱わないとの条件の下で連絡網に代わるものとして実施した。現在は、連絡網以外にPCメールを使用されている方は「活動記録」の件数の送付や委員相互の意見交換が活発になり、限られた時間内での地区定例会に替わり委員同士の風通しが確実に良くなったと感じている。民生委員からの相談で会長は逆に忙しくなった面が有るがやむを得ない。

(7) 自由記述

問8. ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

- 電子化作業ができないので、今後の会長業務に不安を感じる。
- 福祉政策課の事務局の方々が、適切に対応していただいていますので助かります。ありがとうございます。
- 会長、副会長、会計、書記等役割分担を決めて進めているが、会長会から地区定例会開催等資料作りも期間が短いので自分で作らざるを得ない。副会長や書記に書かせることも出来ず、苦勞している。年間行事は進めてもらっているが、遅くて・・・。
- 活動報告書の記入について説明する事が大変で、集計に手間がかかる。記入項目が分かりづらいようである。配布物（本類）が重く大変な時があります。後任を見つけるのが大変である為、町会、自治会との関わりに気を使う。事務局の皆様は助けていただいて何とか勤まっています。
- 時には、丁寧、細事にまで行き過ぎるのではないかと思う。
- 慶弔費の個人負担が増えている。葬儀への参列は個人の判断にゆだねられているがガイドラインがある程度必要かもしれない。また、八王子民児協から香典が支給されているが、会葬御礼の提出が有る為、葬儀への参列は必須となり、個人としての香典も持っていないわけにはいかない。
- ①後任選出のあり方：現在当地区では、1～2の地区を除き退任者が後任者を見つけ形式的に自治会・町会・管理組合の推薦を得たことになっている。中には「当マンションには、民生委員の世話になるような人はいません」とまで管理組合が答え委員の選出はおろか調査の協力さえ得られなかった時期があったという。なお前期まで2期に亘り20地区全体の「要支援者名簿」と地図の作成を引き受けていたが、年齢の進展と共にその様なマンション等は存在しないといえる。自治会・町会・管理組合が責任を持って委員の推薦を行う様に行政側から強く働きかけて欲しい。民生委員の定年引上げ等は一時的のぎに過ぎず「一度引き受けたら定年まで辞められない」という逆にマイナス要因になりかねない。②8月に会長会の宿泊研修がありますが、8月初めからお盆過ぎまではフリーとして欲しい。郷里の老親（現在では夫の親と妻の親の区別は亡くなっている）の様子や実家の整理・整頓、高齢親族への挨拶や家族の行事の為に高齢者から子供まで集える年間を通して今でも貴重な時期である。また会長には少ないかもしれませんが、当地区には女性でもまだ仕事をされている方も少なくなく、また父親が単身赴任されているご家庭の方も居られます。職場旅行などは、私が勤務していた会社では、もう何十年も前からなく夏休みも工場等を除き8月のある期間内に連続実働5日以上の有給休暇を取得する様な労使慣行となっています。民生委員の制度そのものは、行政と住民の会だの溝を埋める役割として、必要と考えていますが、運用等は時代に合わせて変えていく必要があると思います。